

その他の鉱業－その他における労働災害発生状況（1999-2022年）

その他の鉱業－その他 コードNo.020309

その他の鉱業－その他における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	4	8	7	2	3	3	9	7		2		3	2	2	2	3	2	6	1	4	2	1	2	6	81
転倒		2	2	1	4	5	3	3	1	1	1	2	1	1	1		3	2	5	3	5	2	2	3	53
激突		2		1	1		1	1				1	1		1		1				1	2			13
飛来・落下	3	5	1	1	2	1		5	1	3	2		1	1					1		2			2	31
崩壊・倒壊									1	1							1	1			1	2			7
激突	2	1	3	1	1		1	1			1		2						1	1					15

の木材 加工用 機械																								
整地・ 運搬・ 積込み 用機械						3	1	1			2				1			1					9	
掘削用 機械			2		2			1									1	1				1	1	9
基礎工 事用機 械			1			1																	2	
締固め 用機械																								
解体用 機械								1										1					2	
高所作 業車																								
その他 の建設 機械等						1				1					1				1	1			5	

機、粉 砕機		1		1		1			1							1						1	6	
ロール 機（印 刷ロー ル機を 除 く。）																								
射出成 型機																								
食品加 工用機 械																								
印刷用 機械																								
産業用 ロボッ ト																								
その他 の一般 動力機			1						1							1		1						5

フト																									
揚貨装置																									
ゴンドラ																									
機械集材装置、運材索道																									
簡易架線集材装置																									
その他の動力クレーン等											1											1	2		
トラック			4					4	1		1	2					2	3		3	2	1		1	24
フォークリフ			1		1						1						1		1						6

手工具			1		1			2			1				1								6
はしご 等			1				2			1					1		1				1	1	8
玉掛用 具					1												1						2
その他 の用具								1	1								1				2		5
その他 の装 置、設 備					7		1	3							2		1			1			15
足場										1													1
支保工																							
階段、 栈橋			1				2	1		1		1		1		1	1					1	10
開口部			1					1															2
屋根、 はり、 もや、 けた、																				1		1	2

放射線																								
その他の危険物、有害物等																		1						1
金属材料			1				1	1	2							1		1		1			8	
木材、竹材								1															1	
石、砂、砂利							1	1								1	1	2	1		1		8	
その他の材料				1			1											1					3	
荷姿の物			1			1		1	1	2					1			1					8	
機械装置							1		1														2	
地山、岩石				1			1	1						1					1		2		7	

立木等								1		1										1					3
水																									
異常環境等																									
高温・低温環境																	1								1
その他の環境等					1				1					1					1						4
その他の起因物			2																						2
起因物なし			1											1	1			1		2	1	1	3	1	12
分類不能																									
合計	18	28	25	8	23	22	20	23	11	12	9	8	9	7	14	5	11	13	11	15	15	9	12	13	341

その他の鉱業－その他における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
9人以下	9	11	9	2	4	3	7	4	7	3	5	1	2	4	3	3	3	5	2	4	2	1	4	5	103
10人-29人	4	9	12	4	12	9	6	16	4	4	4	2	3	2	7	1	1	3	6	7	4	3	4	3	130
30人-49人	2	3	2	1	4	3	6	1		3		1	2		3	1	5	2		2	2	3	3	2	51
50人-99人	2	2	1			4	1	1		1		3	2	1			2	3	3	2	7	1	1	2	39
100人-299人				1	3	3		1		1		1				1						1		1	13
300人以上	1	3	1																						5
合計	18	28	25	8	23	22	20	23	11	12	9	8	9	7	14	5	11	13	11	15	15	9	12	13	341

その他の鉱業－その他における月別労働災害発生状況（1999-2022年）

福井		1						2						1									4	
山梨																								
長野		1				2		1		1		1		1		1	2	2			1		12	
岐阜	4	3		3		2	1			1		1	1		2	1						1	20	
静岡		2						1	1								1						5	
愛知		2	1		2		1	1			3	2	2	1				1	1	1	2		20	
三重		2	1			1	3					1	1						1	1			11	
滋賀	1	1		1							1			1			2		1			1	9	
京都				1		5	1		2	1				1			1						12	
大阪		1																					1	
兵庫		1	1				1					1							1	1			6	
奈良																								
和歌山																								
鳥取																								
島根																								
岡山	1	1		1			1					1		1	1	1							8	
広島			2						1							1						1	2	7
山口				1								1	1		1								4	

徳島		1	1					1									1								4		
香川																									1	1	
愛媛																											
高知	1		1		1					1	1	1						1						1	1	1	10
福岡			1								1															1	3
佐賀								1												1							2
長崎										1																	1
熊本	1	1	1				1											2							1	7	
大分	1	3	1				1		1									1						1			9
宮崎		1	3		1		1	1										1			1				1	10	
鹿児島												1															1
沖縄			1					1	2			1															5
合計	18	28	25	8	23	22	20	23	11	12	9	8	9	7	14	5	11	13	11	15	15	9	12	13	13	341	

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

備																								
仮設 物、建 築物等												1												1
危険 物、有 害物等									1															1
材料								1								1								2
荷																								
自然環 境等																								
その他 の起因 物																								
起因物 なし																								
分類不 能																								
合計			1		4	1		1	2	1		1	1					1						13

能																									
合計			1		4	1		1	2	1		1	1						1						13

その他の鉱業－その他における年齢別死亡災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
19歳以下								1																	1
20歳-29歳					1	1			1																3
30歳-39歳																		1							1
40歳-49歳			1		1					1			1												4
50歳-59歳					2																				2
60歳以上									1			1													2
合計			1		4	1		1	2	1		1	1					1							13

その他の鉱業－その他における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下												1						1							2
10人-29人					3			1	1	1															6
30人-49人			1		1																				2
50人-99人									1				1												2
100人-299人						1																			1
300人以上																									
合計			1		4	1		1	2	1		1	1					1							13

その他の鉱業－その他における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

徳島																								
香川																								
愛媛																								
高知		1			1																			2
福岡																								
佐賀																								
長崎																								
熊本																								
大分																								
宮崎																								
鹿児島																								
沖縄																								
合計		1		4	1		1	2	1		1	1					1							13

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

その他の鉱業－その他における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の型	労働者規模
2016	11	14 ～ 15	直径0～40mmの石灰石の貯蔵槽（サージタンク）の排出口が詰まったため、貯蔵槽の内部に入って固まった部分（いつき）を金属の棒でつついていた被災者が貯蔵槽内部の石灰石に埋没した。	石、砂、砂利	崩壊・倒壊	1～9
2011	11	4 ～ 5	4直3交替に勤務する被災者は、一人体制の1直勤務（0時～8時20分）に就いていたが、午前4時30分の定時連絡後、午前7時30分に連絡が取れなかったため行方を探していた。午前9時頃、出勤してきた労働者が、工場に隣接する水路内でうずくまっている被災者を発見した。すぐに救急搬送するも、11月8日午前2時22分、頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫急性硬膜外血腫、脳挫傷により死亡した。	建築物、構築物	墜落・転落	50～99
2010	1	14 ～ 15	国道で、社員の運転するダンプカー（10t）が土砂（10t前後）を運搬中、道路を下って右カーブに差し掛かったところ、スピードの出し過ぎかよそ見運転等により、道路左ガードレールを突き破って30m下の崖下に転落した。被災者は、病院に運ばれたが、頭部を打って死亡した。	トラック	交通事故（道路）	1～9
2008	6	21 ～ 22	被災者は、3交代制（5組、1組1名体制）で、操作室において遠隔操作により、コークス炉による生石灰（建材原料）の製造に従事していた。操作室内のモニターに、複数回の異常警報表示があり、それに対応しようとコークス炉の最上部に近寄ったところ死亡し、次の交代勤務者がコークス炉3層目の定置式はしごの最上部に倒れているところを発見した。	有害物	有害物との接触	10～29
		14	砂利プラント施設内の砂利を投入するためのヤード（原石ビン）内部で砂利が詰まったため、被災者1名が内部に入り	石、	崩	10

2007	5	～	ピッチングハンマーで詰まり部分を砕き、他の作業員1名がヤード（原石ビン）の下部にある排出口で砂利をすくい出す作業を行っていたところ、投入口の周囲の砂利が崩れ落ちて被災者が生き埋めになった。	砂、砂利	壊・倒壊	～	29
2007	10	18～19	トンネル建設工事現場において、被災者ほか3名は仮設坑道の測量作業に従事していた。作業箇所付近にブレーカーが停車していたため、これを前方に移動させるべく被災者が運転を行ったところ、ブレーカーが側壁に接触しそうになったため他の作業員が被災者に注意をした。この際、被災者はキャビンから身を乗り出したが、キャビンが回転したためキャビンと側壁の間にはさまれた。	解体用機械	はさまれ巻き込まれ	～	99
2006	10	17～18	鉱山における石灰石の砕石プラントにおいて、当該プラントオペレーターがコンベアプーリーの回転部分に巻き込まれた。	コンベア	はさまれ巻き込まれ	～	29
2003	7	22～23	石灰製品の製造中に、原料を供給するサービスタンクに詰まりが生じたので復旧作業をしていたところ、何らかの原因で集じん機が爆発し、作業をしていた2名のうち1名が死亡した。	その他の装置、設備	爆発	～	49
2003	5	～	9 石灰石の採掘切羽現場で、坑道内に設けられた採掘作業員詰所（休憩室）内の乾燥室内から出火した。詰所にいた2名が初期消火を行ったがおさまらないので、切羽にいた9名の応援を得て消火活動を行っていたところ、急に煙が坑道内にも10 充満し逃げ遅れた3名が死亡した。	その他の装置、設備	火災	～	29
		9	石灰石の採掘切羽現場で、坑道内に設けられた採掘作業員詰所（休憩室）内の乾燥室内から出火した。詰所にいた2名が	その他			10

2003	5	～	初期消火を行ったがおさまらないので、切羽にいた9名の応援を得て消火活動を行っていたところ、急に煙が坑道内にも	の装 置、設 備	火災	～
		10	充満し逃げ遅れた3名が死亡した。			29
2003	5	～	石灰石の採掘切羽現場で、坑道内に設けられた採掘作業員詰所（休憩室）内の乾燥室内から出火した。詰所にいた2名が	その他 の装 置、設 備	火災	10
		10	初期消火を行ったがおさまらないので、切羽にいた9名の応援を得て消火活動を行っていたところ、急に煙が坑道内にも			～
			充満し逃げ遅れた3名が死亡した。			29
2001	4	～	石灰石鉱山の石灰石貯鉱槽にゲートを新設する工事において、部品を取り付けるためトラクターショベルのバケットに	整地・ 運搬・ 積込み 用機械	はさ まれ 巻き 込ま れ	30
		13	乗って作業を行っているときに作業ゲートとバケットとの間に挟まれた。			～
		14				49

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。